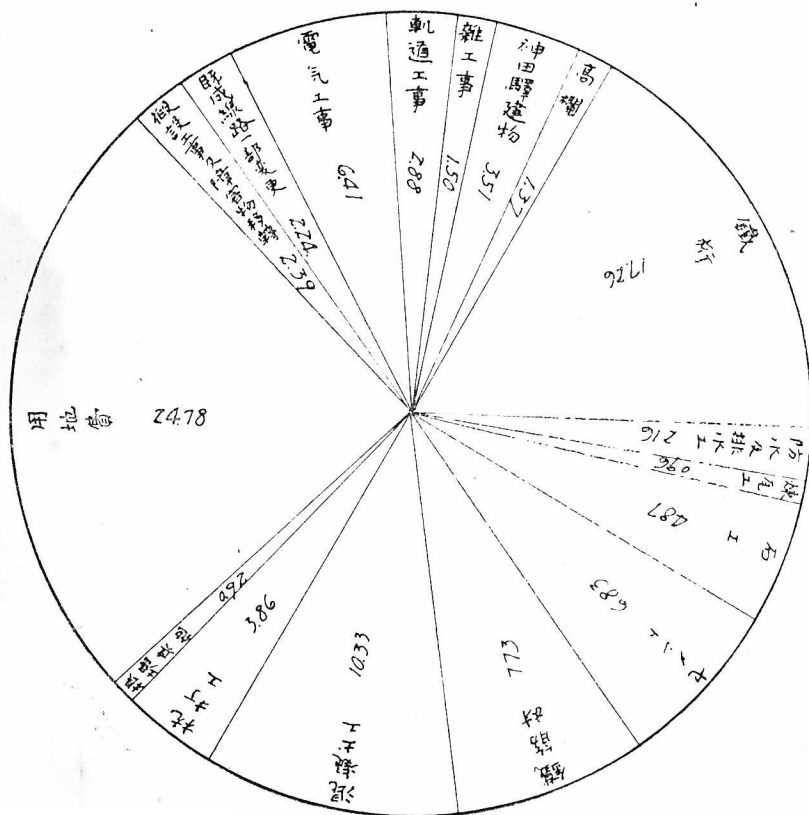


(12) 工事費總額及百分率

第一線及第二線路の工事費總額を工事の種類に依て分ち其百分率を求むるときは次表の如し(同以下四捨五入)

種 目	工事費 總額	百分率	種 目	工事費 總額	百分率
用地費	700,158	24.78	鐵 桁	487,504	17.26
根 堀	26,082	.92	高 欄	38,743	1.37
杭打工	109,115	3.86	神田驛建物	99,264	3.51
混凝土工	291,772	10.33	雜工事	42,345	1.50
鐵筋材	218,408	7.73	軌道工事	81,262	2.88
セメント	192,899	6.83	電氣工事	181,149	6.41
石 工	137,676	4.87	既成線路及構造物變更	63,339	2.31
煉瓦工	27,243	.96	假設工事及障害物移轉	67,373	2.39
防水及排水工	60,910	2.16	合 計	2,825,242	100.00

第 三 十 圖



第十三 從 事 員

本建設工事の一部設計、用地測量及買収は舊東京改良事務所の所管にして所長技師岡田竹五郎之を總轄し技師山中新太郎、同森早苗、同安倍屋、技手磯野準二、同柴原龍兒、同秋田重季、同吾孫子巳太郎、同伊藤春吉、同齋藤英雄、雇阿部美樹志等測量及設計に従事し副參事柴山猪虎馬、書記光岡豐次郎、同木本貞芳、同關口甚吉、同田部井理助、同酒井武男等土地買収及庶務に従事す、大正四年六月官制改正東京改良事務所廢止され事務の中部鐵道管理局に移るに當り長谷川管理局長(大正五年十二月技監に轉任、同時に長尾理事局長に就任、大正七年十月官房勤務に轉任木下理事局長に就任)の下に工務課長技師稻垣兵太郎、改良係長技師大河戸宗治之を總轄し專任として技師金井彦三郎、同阿部美樹志設計及び工事に従事し技手磯野準(大正四年十二月東部鐵道管理局へ轉任)同柴原龍兒(大正六年九月以後現場工事に従事同七年六月技師に任ぜられ東部鐵道管理局へ轉任)同宮田太四郎、同松田亮治、同長田忠雄、同淺井勝次郎、雇田中篤(大正六年七月新任七年十二月技手に任)同和田米三郎、同津路嘉起、同古川昭(大正五年三月新任)同宮入司(大正五年七月新任)等設計々算及製圖に従事し技手西野庄治郎、同吉岡吉三郎、同松村修吉(大正七年六月就任)同川端由松、雇長田貞治、同中村務(大正五年七月就任)同井代善三(大正五年三月新任)同佐藤文藏(大正六年七月新任)等現場工事監督に従事す、以上專任者は新任の外は總て東京改良事務所より引續き従事せるものなり

事務に關しては副參事砂田精次郎庶務係長として之を擔當し書記中野英雄、同森喜治、同米倉剛、同西山昌榮、同隅田武雄、同同前辰太、同漆原祐之助、同岡本正倫、雇古賀佐藏、同松下藤吉、同加藤友一等分掌従事し書記助友利吉現場に於ける物品事務を擔當せり
神田驛其他建物工事に關しては技師久野節、同上野肇(大正六年八月西部鐵道管理局へ轉任)技手長澤榮作、鐵道手福壽傳吉、雇大澤長次郎(大正六年九月東部鐵道管理局へ轉任)等之を擔當せり

鐵桁設計は東京改良事務所に於て設計を終了せしが其各部の寸法は總て「メートル」式なりしを呎吋式に改むると尚工作用詳細圖の調製を本院に委嘱し設計課長技師那波光雄の下に技師山中新太郎、同黒田武定、技手荒川恵助、同小島萬之助、同吉越康治、同中原壽一郎、同大川榮、同友常俊次、同米田長次、雇野島納、同山中眞三郎等分擔し計算及製圖に従事せり

通信及信號に關しては電氣係長技師中山千顯(後技師林昭徳更任)同石井直、技手柴原武同千手常次郎、同田中末次郎、同武市清、同山田義一、雇荒井吉太郎、同立木松吉、同佐野貞太郎等分擔従事せり

電力及機械工事は工作課長技師福島縫次郎、新橋電力事務所長技師増永元也(後技師南一更任)擔當の下に技師久米甚太、同森島鐵太郎、同松木壽、同杉温平、技手柴田朝七、同佐竹元輔、同朝比奈九郎、同竹内新、同荒木順三、雇岡田成賢、同小久保盛雄、同渡邊誠一、同熊谷留義、同相澤芳四郎等分擔従事せり

軌道工事は新橋保線事務所長技師今井義和擔當の下に技師木原英一、新橋保線區主任阪井代作、技手岩田勘之助、同立野孝太郎、新宿保線區主任片山滿太郎、技手能田安次郎、同松島堅三等分擔從事せり

————→ 終 ←————

大正九年七月廿五日印刷
大正九年七月三十日發行

(非賣品)

鐵道省東京改良事務所

東京市深川區古石場町六番地

印刷者 淺野寅次郎

東京市深川區古石場町六番地

印刷所 中央印刷株式會社

電話本所四九七二番